

短歌・俳句で綴る

御代田の四季

「短歌の会」と「御代田風の道俳句会」から寄せられた代表作品です。

短歌

雪残る塩田の郷の寺めぐり証のやうに厄除け求む

前田 悦子

一面の菜の花そよぐ海辺道もわっと香る風の通りて

大井 藤子

僅かなる喜びありしこの朝は唄わぬ演歌口ずさみある

吉田 倉子

俳句

当期雑詠

黄水仙ナルキッソスの面輪の香

足立 淳

雪解風熊笹の葉の唄ひ出す

土屋 春雄

水温む口ぼこぼこと堀の鯉

小林阿ぐり

空深く鳥帰る影ひい・ふう・み

石川 政司

なごり雪石仏ひしと抱き合ふ

石川 弘美

サークル さあ来る。①

気楽な気持ちで作陶を楽しむ とんぼの会

とんぼの会は昭和63年に発足し会員は15名です。毎週木曜日午後6時から10時まで活動しています。会社員、自営業やアルバイト、孫のめんどろをみていて昼間時間の取れない人と様々です。中には都合上休んでしまう人もいますが、決して無理せず形にとらわれず気楽な気持ちで趣味を楽しんでいます。

時には作品展に出掛けたり、本やメディアからの情報を元にアイデアを出し合ったりしながら、出来上がった際にはその出来栄に一喜一憂しながら次に向け意欲的に作陶に励んでいます。日々忙しい方でも夜のちょっとした時間を趣味にあててみませんか、ご連絡ください。

定例会 毎週木曜日 午後6時～10時
会長 萩原 弘志 32-6285



Man Watching #95

夢がかなって
お店をはじめることができました！

① 趣味は？

本屋さんに行くこと、森林浴

② おすすめスポットは？

アンジェリカ、
宝珠院のお庭(しだれ桜、赤松)

③ 理想の人は？

おだやかで植物好きな人

④ 夢・目標は？

ゴッドハンド

⑤ まちづくりに一言

小さい子からお年寄りまで
がみんな安心して暮らせる
町にしてほしいです。



Let's try English!

Message FROM
Ben Gibson
(中学校AET)
Vol.114



Snowboarding Part2

I love living in Nagano. I have traveled to many places in Japan, but Nagano is my favorite. Of course, I like the food, the hot springs, the nature, and the people. But my big reasons for living here are the mountains and the winter.

I have been going to ski hills since I could walk. So now, after thirty years, I feel like I need to live near the mountains. A few years ago, I had surgery on my knee, and I could not snowboard all winter. It was the first winter that I could not go to the ski hill! I was living in Nasu Kogen at that time, and it was a sad time for me. I didn't know what to do! I understood that snowboarding is a kind of addiction! In English, we call people who live near ski hills and ski all the time "Ski Bums". They are addicted to that lifestyle. I think I have been a ski bum for a long time.

So when I came to Japan, I was very interested in snowboarding here. I saw many differences between the winter sports in Japan and in Canada. For example, even when it is very busy, I see that people sometimes ride the lifts by themselves. In Canada, this is a little strange. We try to fill the lifts so that people don't wait. At some ski hills, in long line ups people shout "Single!". If there is another single person in the line, they yell back, and even if they are strangers, they ride the lift together. Skiers and snowboarders in Canada are very friendly people, and we like to meet each other.

One more example is halfpipe riding. A halfpipe is a long trench in the snow. Skiers and snowboarders ride up the walls and jump and do tricks. It is really fun! It is also an Olympic sport. There is a halfpipe in Karuizawa, and I used to go there often, but now I don't. In Canada, on a nice spring day, we will just wear a t-shirt and hike up the side of the halfpipe with our friends. If someone is snowboarding well, we try to encourage and support them, even if we don't know each other. So the halfpipe is usually a noisy place, always full of clapping, cheering, and laughing. But in Karuizawa, even if the halfpipe is busy, it is very quiet. Many snowboarders are very good, but nobody cheers, and people talk only to their friends. It feels very uncomfortable, and it is difficult for me to have fun. So I stopped going there.

For me, having fun is the soul of snowboarding. Becoming good is important, because it lets you snowboard in more conditions. You can learn snowboard in deep snow or icy snow, on steep hills or moguls, in sunny weather or a snowstorm. If you get better, you can have more fun! The winter is almost over, but if you meet me at the ski hill, lets ride the lift together!



スノーボード Part2

長野に住んでいて本当に楽しい。日本でたくさんの場所に旅したけれど、長野は大好きな場所だ。もちろん、食べ物、温泉、自然そして人々が好きだ。でも、ここに住むもっと重要な理由は「山」そして「冬」が素晴らしいからだ。

歩けるようになって以来、スキー場に行き続けている。そして30年経った今は、山の近くに住む必要を感じている。2~3年前に膝を骨折したことがある。おかげで冬の間、スノーボードが出来なかった。スキー場にいけない初めての冬だった！当時、那須高原に住んでいた。僕にとって本当に悲しい時間だった。何をしたらいいかもわかんなかった！そして、スノーボードが中毒の一種だと理解した。英語でスキー場の近くに住む人やスキーばかりしている人達を"Ski Bums" (スキー狂)と呼ぶ。それはそのライフスタイルからそう名付けられているのだ。そして、僕自身が長い間、Ski Bumだったんだとわかった。

だから日本に来たときは、ここでスノーボードが出来ることにすごく興味を覚えた。日本とカナダのウインタースポーツにはたくさんの違いがあるということが分かった。例えば、どんなに混雑しているときでも、一人だけでリフトに乗ろうとする人達を時々見かける。カナダ人にとっては、少し奇妙なことだ。カナダ人は出来るだけ待たないように、リフトの座席を埋めようと努力する。例えば、スキー場で長い列が出来ているとき、人々は"Single！ (一人だよ！)"と叫ぶ。もし、列の中に、一人だけの人か他にもいたら、後ろから声がかかる。例え、お互い見知らぬ同士だとしても。スキーヤーやスノーボーダーはカナダではとてもフレンドリーだから、お互いに知り合えることが好きなのだ。

他にも、例えばハーフパイプ ライディング (halfpipe riding)がある。ハーフパイプとは雪の中の長い溝のことだ。スキーヤーやスノーボーダー達は壁を登ったり、ジャンプしたり、空中で飛んでみたり。本当に楽しい。オリンピック競技でもある。軽井沢にもハーフパイプ場があり、以前は何度か出掛けて行ったが、今は行かないことにしている。カナダでは、天気の良い春の日にTシャツだけを着て、ハーフパイプの片側を友達と登っていく。もし、スノーボードが上手に出来たら、皆で勇気づけたりサポートしたりする。例えお互いを知らなくても。ハーフパイプ場はたいていうるさい。拍手や応援や笑い声がいっぱいだから。でも軽井沢では、例えハーフパイプ場が混雑していてもとても静かだ。多くのスノーボーダーたちはとても上手だが、誰も応援しないし、自分の友達とだけおしゃべりする。とても不快に感じるし、楽しさを見いだすことも難しかった。だからもうそこに行くことはやめたのだ。

私にとって、楽しむということこそがスノーボードの神髄なのだ。上手になることは大事だ。上手になればいろんな状況の中でも滑れるようになるからだ。深い雪の中や凍った雪の上、急な丘、コブ斜面、天気の良い日や嵐の日などの滑り方を学ぶことが出来る。もし、もっと上手になればもっと楽しくなる。冬はもう終わりだ。でも、もしスキー場で私と出会ったら、一緒にリフトに乗りましょう!!